

ばい煙に係る特定施設設置届出書の記入例

富山県知事 ○○ ○○ 殿
市町村長 ○○ ○○ 殿

令和○年○月○日
特定施設設置~~(使用)~~届出書

届出者 住所 〒○○○-○○○○
○○県○○市○○町○○番○○号
氏名 ○○株式会社
代表取締役 ○○ ○○
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

注意点
・これは特定施設を新たに設置する場合の記入例です。
・届出書は各区分（下記を参照）ごとに作成してください。
様式第1号：特定施設設置届（全ての区分で共通）
別紙1～3：ばい煙に係る特定施設
別紙4～5：粉じん又は有害ガスに係る特定施設
別紙6～8：汚水又は廃液に係る特定施設
別紙9：悪臭に係る特定施設
・特定施設の着手予定日の60日前までに届け出てください。
(すでに着手している場合やこれより期間が短くなる場合は相談してください。)

年号又は西暦（西暦は4桁）で記入する。

該当するもの以外は、取消線を入れる。

届出者又は代表者の氏名等を記入する。
(代表権のないもの(例えば工場長)が届出をする場合は、
①代表者と工場長を連名で記入（委任状不要）
または
②工場長を記入し、委任状（写し可）を添付
※ 届出書・委任状ともに押印は不要

特定施設設置工場又は事業場の名称を記入する。

上記工場又は事業場の住所を記入する。

日本標準産業分類の中分類を記入する。

(1)は原料の成分割合、反応率等からばい煙や汚水の濃度等を計算したものやカタログ値等を添付する。
(2)は工場又は事業場の場所を明記する。（色つけするなど見やすく）
(3)は特定施設の設置場所を明記する。（色つけするなど見やすく）
(4)は操業の系統がわかるフロー図等に特定施設を明記する。（色つけするなど見やすく）
(5)は設計図、カタログ図面等を添付する。

富山県公害防止条例第9条第1項~~(第10条第1項)~~の規定により、特定施設（騒音に係る特定施設を除く。）の設置~~(使用)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○株式会社 ○○工場 (電話番号) ○○○-○○○-○○○○		
工場又は事業場の所在地	富山県○○市○○町○○番○○号 (郵便番号) 〒○○○-○○○○		
事業内容	化学工業		
資本の額又は出資の総額	4,000 万円	敷地面積	10,000 m ²
公害防止のための管理責任者氏名	公害防止統括者 ○○ ○○	作業場面積	屋内 7,000 m ²
常時使用する従業員数			117 人
△ 特定施設の種類	別紙のとおり	※ 市町村受理年月日	年 月 日
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	※ 受理年月日	年 月 日
△ 特定施設使用の方法	別紙のとおり	※ 整理番号	
△ ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法	別紙のとおり	※ 施設番号	
添付書類	(1) ばい煙の濃度等に関する説明書 (2) 工場又は事業場の付近の見取図 (3) 工場又は事業場の敷地内の建物配置図又は特定施設(騒音に係る特定施設を除く。)の配置図 (4) ばい煙等(騒音を除く。)発生又は排出及びばい煙等(騒音を除く。)の処理に係る操業の系統の概要を説明する書類 (5) 特定施設(ばい煙に係る特定施設に限る。)の構造概要図及びばい煙等(騒音を除く。)の処理施設の構造概要図		
※市町村長の意見又は審査結果			

備考 1 ※印欄には、記載しないこと。
2 △印欄の記載については、次の表の区分による書類によること。

区分	特定施設の種類	特定施設の構造	特定施設の使用の方法	ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法
ばい煙	別紙1	別紙1	別紙2	別紙3
粉じん又は有害ガス	別紙4	別紙4	別紙4	別紙5
汚水又は廃液	別紙6	別紙6	別紙7	別紙8
悪臭	別紙9	別紙9	別紙9	別紙9

ばい煙に係る特定施設の種類の種類及び構造

ばい煙に係る特定施設の種類の種類	10 (化学製品の製造の用に供する反応施設)		
工場又は事業場における施設番号	反応槽-001		
名称及び型式	反応槽 〇〇社製 HANNO_01		
着手予定 設 置 年 月 日	令和〇年〇月〇日	年 月 日	
使用開始予定 年 月 日	令和〇年〇月〇日	年 月 日	
規 模	バーナーの燃料の燃焼能力(重油換算 L/時)	最大 通常	最大 通常
	原料の処理能力(kg/時)	塩素換算で90kg/hr (塩酸として使用)	
	火格子面積又は羽口面断面積(m ²)		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	容 量 (m ³)	3,000	

該当する特定施設の項番号及び名称を記入する。(施行規則 別表第1の1参照)

当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いている番号、名称等を記入する。

名称、製作メーカー及び型番を記入する。

該当するもの以外は、取消線を入れる。

・「最大」は施設を定格で運転させた場合の数値を、「通常」は平均的な運転状況の場合の数値を記入する。
 ・特定施設の種類の種類によって、その届出要件に該当する規模の種類について、その値を記入する。(施行規則 別表第1の1を参照)
 例) 電気炉：変圧器の定格容量 (KVA)
 化学製品の製造の用に供する反応施設：原料として使用する塩酸等を塩素換算した処理能力 (kg/時)
 アルミニウムの再生の用に供する溶解炉：バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 L/時)
 (参考) 重油換算 (大気汚染防止法による換算方法。換算方法がわからないときに利用してください。)
 液体燃料 10L、ガス燃料 16m³、固体燃料 16kg が重油 10L に相当する。
 (なお、ガス機関については、次の換算式によること。
 重油換算量 (L/h) = 換算係数 × 気体燃料の燃焼能力 m³/h
 換算係数 = 気体燃料の発熱量 (kcal/m³) / 重油発熱量 (kcal/L)
 ただし、上式の気体燃料の発熱量は総発熱量 (高位) を用いることとし、重油の発熱量は 9,600kcal/L とすること。)

- 備考 1 ばい煙に係る特定施設の種類の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 2 ばい煙に係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日及び使用開始年月日予定月日を、使用届出にあつては設置年月日を記載すること。
 3 規模の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の1の規模の欄に規定する項目について記載すること。

ばい煙に係る特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		反応槽-001 ←		当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いている番号、名称等を記入する。
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時~24時 24時間/回 1回/日 31日/月	時~時 時間/回 回/日 日/月	<ul style="list-style-type: none"> ・季節による使用状況の変動の有無について記入する。 ・季節変動がある場合はいつ頃の程度変動するか記入する。(例えば、夏季は通常の1.5倍稼働など)
	季節変動	無 ←		
原材料(ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	〇〇、□□ ←		<ul style="list-style-type: none"> ・ばい煙の発生に影響があるものを記入する。 ・原材料中に塩素分及び弗素分が含まれている場合には、安全データシート(SDS)の情報等により原料中の成分割合(%)を記入する。 ・重量比又は容量比の別を明らかに記入すること。
	使用割合	〇〇:60% □□:40%		
	原材料中の成分割合(%)	塩素分 〇〇:10%(重量比) □□:5%(重量比) ←	塩素分 弗素分	
	1日の使用量(kg/日)	〇〇:300 □□:200		
使用圧力(kg/m ²)		常圧		<ul style="list-style-type: none"> ・ばい煙処理施設がある場合は、処理後のものを記入する。
使用温度(℃)		25		
排出ガス量(N m ³ /時)		最大 4,000 通常 3,000 ←	最大 通常	<ul style="list-style-type: none"> ・排出ガス量は、湿りガス量を記入する。 ・「最大」は施設を定格で運転させた場合の数値を、「通常」は平均的な運転状況の場合の数値を記入する。(以下、同様。)
排出ガス温度(℃)		25		
ばい煙の濃度	ばいじん(g/N m ³)	最大 通常	最大 通常	<ul style="list-style-type: none"> ・排出基準が適用される項目について記入する。(施行規則 別表第2の1参照) ・ばい煙の濃度は乾き排ガス量中の濃度を記入する。 ・ばい煙処理施設がある場合は、処理後のものを記入する。 ・ND等と記入する場合は「ND (<0.2)」のように数値も記入する。
	塩素(ppm)	最大 通常	最大 通常	
	塩化水素(ppm)	最大 10 通常 5	最大 通常	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素(mg/N m ³)	最大 通常	最大 通常	
参考事項				

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄に記載にあたっては、重量比(%)又は容量比(%)の別を明らかにすること。
 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 3 排出ガス量、排出ガス温度及びばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後のものとすること。
 4 酸素吹込式の炉については、参考事項として、酸素吹込量、使用時間等を記載すること。
 5 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に時間別の排出量の変動の状況を記載すること。

処理施設がない場合
(煙突のみ)の記入例

処理施設がある場合
の記入例

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号	煙突	除害塔-001	← 当該工場又は事業場で当該処理施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。	
ばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号	反応槽-001	反応槽-001	← 当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。	
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式	-	除害塔 〇〇社製 JOGAITO_01	← 除害塔、サイクロン、バグフィルタ、スクラバーなどの種類の別、メーカー及び型式を記入する。	
着手予定 設 置 ← 年 月 日	令和〇年〇月〇日	令和〇年〇月〇日	← 該当するもの以外は、取消線を入れる。	
使用開始予定 年 月 日	令和〇年〇月〇日	令和〇年〇月〇日		
処理能力	排出ガス量 (N m ³ /時)	最大	4,000	
		通常	3,000	
	排出ガス温度 (℃)	処理前	200	
		処理後	25	
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/N m ³)	処理前	
			処理後	
		塩素 (ppm)	処理前	
			処理後	
	塩化水素 (ppm)	処理前	200	
		処理後	10	
弗素、弗化水素及び弗化珪素(mg/N m ³)	処理前			
	処理後			
捕集効率%	ばいじん			
	塩素			
	塩化水素	95%		
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
処理施設の使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時~時 時間/回 回/日 日/月	0時~24時 24時間/回 1回/日 31日/月	
	季節変動		無 ← 季節による使用状況の変動の有無について記入する。 季節変動がある場合はいつ頃の程度変動するか記入する。(例えば、夏季は通常の1.5倍稼働など)	
処理に要する消耗資材	資材名		水酸化ナトリウム水溶液	
	用途		塩化水素ガスの吸着	
	1日の使用量 (kg/日)		50	
排出速度 (m/秒)			8	

備考 1 ばい煙に係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日及び使用開始年月日予定年月日を、使用届出にあつては設置年月日を記載すること。
2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

排出ガス量は、湿りガス量を記入する。

- ・処理施設がある場合に記入する。
- ・ばい煙の濃度は乾き排ガス量中の濃度を記入する。
- ・処理能力については処理前後の値と捕集効率を記入する。
- ・ND等と記入する場合は「ND (<0.2)」のように数値も記入する。
- ・規制基準については、施行規則別表第2の1を参照